

第72回 日本ユネスコ運動全国大会in沖縄 及び 2016年度連盟総会報告

テーマ：「持続可能な平和のとりでを築こう！」 ~命どう宝 (いのちこそたから)~



田村会長、連盟尼子様、寄居地方ユ協神山様、飯島副会長

日程 6月25日〜26日、会場は宜野湾市「沖縄

コンベンションセンター」で開催。

10時より平成28年第67回年次総会に出席(会長 田村、副会長 飯島)

以下総会要旨民間ユネスコ運動70周年のビジョン(指針と展望)が提示された。「広げよう平和の心」を標榜したビジョン素案が示された。

1.「平和な世界の実現」全ての命を尊び、多様性の尊重と国際理解の進化を図り紛争の無い世界、核兵器の無い世界を希求する。

2.「持続可能な社会の実現」のための教育の実践(ESDの推進)により次世代育成を提示。総会後の大会は南風原高校のアウトラクションにより開幕、沖縄県ユ協理事長・石垣大会会長の開会宣言、連盟松田会長、沖縄県ユ協東良和会長挨拶、祝辞は外務省下川国際文化交流審議官、文科省福田国際戦略企画官、翁長沖縄県知事、中国ユネスコ協会連盟陶西平会長他来賓の挨拶が続く。(以下略)



肝高・尼麻和利の現代組踊り

特別公演は東京大学大学院 高橋哲哉教授による「沖縄で平和を考える(1人の戦後日本人の自省から)」と題して講演に入った。沖縄戦、戦後の米国統治、沖縄返還、沖縄、本土との基地問題、海兵隊の暴力等、沖縄が抱える問題に対し日本国民は全体で向き合わなければならない、と力説された。その後、ネルデイスカッション「語り継ぐ平和」と題し2名のパネリストによる戦争の体験談があり改めて、戦争の悲惨さを感じ、平和の大切さを実感した。

2日目はESDユネスコスクールの事例発表、協会連盟のプロジェクト未来遺産紹介、沖縄の素晴らしい伝統文化の講演があった。特にプロジェクト未来遺産である「肝高

☆予告

バングラデシユ事件に見るように、日の丸を背負って国家事業に努力されているJICA皆様の活動は、やまもすれば命懸けで国際貢献されていると思います。

今回、不幸にもこの事件に遭遇された皆様に深く哀悼の意を表しご冥福をお祈り申し上げます。斯様な赴任地に於けるJICAの皆様の活動は無にせぬようにより広く地域・一般市民に理解して貰い共感されるように、伝えて行かなければと・当協会は今回、モ

の阿麻和利」の現代組踊りとユネスコ無形文化遺産の「護佐丸敵討」は会場を盛り上げ素晴らしかった。来年度は民間ユネスコ生誕70周年と云う記念すべき年であり、発祥の地仙台で開催される。仙台ユネスコ協会の会長及び青年部より力強い開催の挨拶後、野口昇連盟理事長の挨拶により満場の拍手で沖縄大会が閉幕した。

その活動を一般社会に浸透させ、ODAの重要性を理解して頂く一助となるよう講演を企画いたしました。



JICAモロッコ派遣 (高橋講師)



JICAシリア派遣 (和氣講師)

日時：平成28年9月10日(土) 場所：蓮田市図書館2階 視聴覚室 参加費：会員・学生 無料 一般 300円

物故者会員のお知らせです。左記お二人は当協会設立以来ご活躍戴きました同志でした。色々のご協力戴きました思い出は尽きませんが講演会・文化遺産めぐりなどご一緒戴いた時の事・、凛としたお姿が目につかびます。此処に、皆様と共に、謹んで哀悼の意を表し、ご冥福を心からお祈り申し上げます。

木村滋さま 平成27年4月4日 没
峰森武治さま 平成27年10月1日 没
会員一同

編集後記

今回は、編集に際しまして石崎光夫さま、小杉正孝さまならびに会員の方々の大変なご協力を頂き、無事に会報の発行に至りました。

此処に厚く御礼申し上げます。今後も皆様方の投稿や編集のご指導・協力をお願い致します (杉原記)

ぎんずな



第12回地域文化遺産スタディ

わが町を知ろう！中世Ⅲ 岩槻城の成立と武蔵・下総国境地帯

平成28年02月20日(土)



はびすしらか会場風景

当日は発達した低気圧で暴風雨警報と云う最悪の状況でしたが、講演開始時には103名の満席と云う盛況でした。講師は岩槻城の発掘調査研究の第一人者又と近隣の歴史に詳しい、さいたま市教育委員会文化財保護課 課長代理 青木文彦様をお願いしました。主催者を代表し田村会長から謝辞と開催挨拶の後、ご来賓として中野蓮田市長・

秋葉白岡副市長から祝辞を戴き長島白岡教育長もご出席頂きました。要旨…この地域は真浄寺の古文書「老談岩槻軍記」、忠恩寺「高岩山忠恩寺由来」から見えてくる武蔵、太田の庄及び下総の異なる歴史があり埼玉東部地域は中世までは下河辺荘(下総の国)、武蔵の国及びその間に挟まれた太田の庄(藤原氏有数の大荘園)の3地域に分布していた。岩槻城は、3つの地域、歴史の流れ、人物等非常に複雑に入り組んでおり簡単には纏める事が出来ないが、地勢学的に古代から武蔵と下総の国境地帯で立地、攻防を前提に岩槻城が成立したことが良く理解出来た。岩槻城は太田道真、



青木講師・来賓と共に (左から3番目)

道灌父子の築城と言われおり洪江氏と太田一族の幾重にも攻防、死闘があった。岩槻城から騎西地域には武蔵7党の一つである野与党、中小武士団がありこの地域の中には鬼窪一族もおり活躍していた。また、「岩槻城の発掘調査について」お茶屋曲輪跡から「カワラケ」が多数発見され、元々湿地帯の処に盛土整地層が幾重にも累積しており繰り返し岩槻城の改修があった事が判明。岩槻城は城郭都市で構えは総構えであった。国衆支配後の岩槻城は北条(豊臣)徳川支配へと続く新たな軍事、戦略拠点に成長し関東及び関東以北の抑えの重要な城郭都市に成長して行った事等、丁寧な説明で理解でき充実した2時間であった。

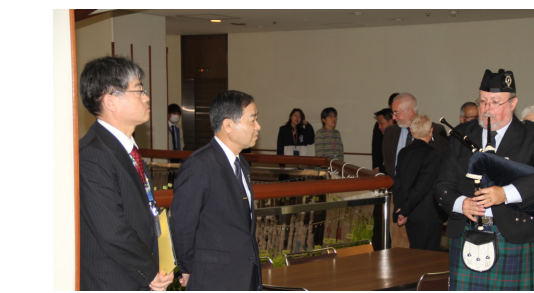
急遽来日されたオーストラリア南極局のグラハム博士・マーチャント博士ご夫妻、第33次日本南極越冬隊長・福地光男さんを迎え、桜を愛でつつ、勇壮でどこか悲しい響きのバグパイプが醸し出す音色に聴き惚れ、夢のようなひと時を過ごすことができました。最初はピアノ演奏のもと、全員で唱歌「さくら」を合唱し、ご一行をお迎え致しました。期待と注目が集まる中、「勇敢なるスコットランド」「チロルの緑の丘」「ワルツイングマチルダ」「スコット



グラハム博士との記念撮影

特別企画 日豪交流会の開催「バグパイプと南極を開く」平成28年3月30日(日) 蓮田市黒浜西自治会館 110名を超えて開催

ランドの釣鐘草」が演奏され、途中バグパイプの説明があり、そして「蛍の光」と「故郷」を出席者全員で合唱。最後は友情出演のソプラノ歌手・高橋瑞枝さんがピアノ・ト木村民子さんの伴奏で「アメージング・グレイス」を朗々と歌われ、哀調切々たる響きが会場に流れるなかで、閉会となりました。盛大な拍手に見送られ南極のバグパイプチャンピオン、グラハム・ホージー博士一行は退場されました。別れ際に、機会あればバグパイプの再演と、南極の話も時間をかけて伺いたい旨希望をお伝えした次第です。講演直前に出演を快諾してくれた木村民子さんと高橋瑞枝さんにも心から感謝申し上げます。当地開催でお世話になった自治会の皆様にも感謝致します。なお、開催当日午前中、此の交流会に先立ち、市役所を訪れ、小島卓白岡市長、長島教育長、ならびに中野和信蓮田市長・西山教育長を表敬訪問いたしました。



市役所内特別演奏



福地・Dr.グラハム・市長・会長・マーチャント夫妻

第15回文化遺産めぐり

築地本願寺・市場・歌舞伎座見学 平成28年05月20日(日)



築地本願寺（案内僧と共に）

今回は都心の3か所の見学となりそれぞれ異なる文化に接することが出来ました。

築地本願寺（浄土真宗本願寺派、中央区築地3丁目）宗祖は親鸞聖人、1617年（元和3年）創建、インド様式の建物で重要文化財指定、本堂にてご案内の僧に説明を頂き暫時パイオルガン（約2千本のパイプ）の壮麗な音色に身が引き締まる思いでした。その後 道一本隔てた築地市場（中央区築地5丁目）へ入場、

ます。（残念ながら水産物の仲卸業者によるセリのパフォーマンスは時間の関係で見ることが出来ませんでした）場内、場外市場の混雑の中汗を拭き歩き徒歩にて歌舞伎座ギヤラリー（中央区銀座4丁目、タワー5階）へ直行致しました。歌舞伎座の華やいだ雰囲気と自然界と私達が共感できる空中庭園にも接し、暫し、都会の雑踏を忘れませんでした。最後に徒歩にて近畿大学水産研究所銀座店にて懇親会を開催・個室にて話題のマグロランチに舌鼓を打ち、堪能して散会となりました。

＊次回は11月下旬 川越東松山市・丸木美術館と川越周辺を予定しています。ご参加ください。江口 保記



歌舞伎座前にて

平成28年度総会報告

協会設立10周年記念事業を視野に

私たちの活動（4事業）の持続

蓮田図書館会議室 4月23日（土）14時から
第8回蓮田・白岡地方ユネスコ協会通常総会が開催されました。

会員総数65名に対して（委任状を含む）41名の出席があり定足数が満ち総会が成立。総会司会に半田さん、議長に江口さんが選出され、議事が進行されました。

冒頭、会長（田村）から挨拶と活動方針の説明がありました。特に当初の2、3年後の活動を見据えた企画と、行政・教育委員会・文化団体等との連携、交流と実施に、対応可能な人的確保を推進する事が重要であることが強調されました。また「私たちの活動」の4分野の活動は、従来通り継続実施したいとの発表がありました。

続いて平成27年度事業結果報告・決算報告がなされ、監査報告があり承認、そして平成28年度予算案等1号議案から5号議案までが審議され、質疑応答が行われた後、提案通り可決承認されました。

結果報告・決算報告がなされ、監査報告があり承認、そして平成28年度予算案等1号議案から5号議案までが審議され、質疑応答が行われた後、提案通り可決承認されました。



総会出席者

- 田村勝彦 会長
- 飯島剛 副会長
- 杉原茂 事務局主幹
- 半田雄司 事務局
- 江口保 事務局
- 雲見昌宏 事務局
- 平賀栄美子 事務局
- 斎藤恵美子 事務局

続いて平成27年度事業結果報告・決算報告がなされ、監査報告があり承認、そして平成28年度予算案等1号議案から5号議案までが審議され、質疑応答が行われた後、提案通り可決承認されました。

第9回寺小屋講座

「ESD」ユネスコスクールに学ぶ」その3

平成28年04月23日（土）

「ESD」ユネスコスクールに学ぶ」その3

地元、2校が認定後1年が経ちました。第2回目の勉強会に続き、協会連盟の尼子美博様を講師にお招きし、ユネスコスクールと当協会が、どのような連携を取っていくべきか、なすうることは何かを共に考え、模索したいと開催致しました。昨年はESDパスポートの活用やwin/winの関係構築の大切さ、民間協会として、学校や地域が抱える諸課題に対し何をなすうるかを考える大切さを学びました。ESDの重要性が唱えられ10年、GAP即ち「グローバル・アクション・プログラム」として5つの「優先行動分野」が示されるなど、新たな展開に入っております。が、各所で理解と認識の差が拡大しつつあること、それに人の異動が課題として挙がっております。このため、次世代の育成の為に、近々、「ESD実践の手引き」が作成される様子です。地域の色々なグループの活動と連携し、協働していくことは必要で

ですが、大切なことはその交流の媒介役を担う組織であります。この役割を担う組織として期待されるのが、我々民間ユネスコではないかとの示唆を頂きました。連携強化に向けたコーディネーター役を果たすためには当協会内のストックを質・量共に高めるべく地道な努力が肝要かと思われず。続いてスクール先輩格の国際学院高校から、6年間の活動状況についてお話がありました。同高校は「ユネスコスクールESD優良実践事例」にも選ばれ、活発な活動が行われております。最後に、ユネスコスクール推進に今後も注力する旨槍田教育課長、山口市議会議長からも心強い発言があり加藤校・石川校長、橋教頭からも一言ご報告を戴き、充実した勉強会となりました。（半田記）



（公社）日本ユネスコ協会連盟）尼子講師

法人会員紹介

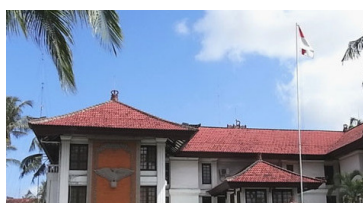
ラマツアーズ

万亀子・イスカンダール

（まきこ）



①福岡県は、矢部川と山々に囲まれた高級茶の産地八女で生れ育ちました。②学生時代に早稲田の留学生だったインドネシア人の夫（故人）と出会いました。その後インドネシアバリ島でラマツアーズを起業。以後38年、一貫して観光業に携わっています。③会長田村勝彦さんは青山学院時代からの尊敬する大親友です。数年前、蓮田白岡での講演会でお話させて頂いたことが懐く思われます。「インドネシアと日本



バリ島最大の観光会社
ラマツアーズ本社

の架け橋」を、常に私の生きる指針としてきました。その人材育成・実践としての「バリ日本語補習授業校」「バリ日本人会」「ロータリークラブ」の活動を通じ、両国の架け橋を目指し、これからも努力して行きたいと思っております。皆さま、どうぞバリ島へお越しください。お待ちしております。「第5回「わたしとインドネシア」国際文化スタデイの講師として来日、設立以来の多大なご支援に感謝状を贈呈させて頂きました。」

十七年たった現在は従業員にも恵まれ、充実した毎日の中、楽しく仕事をしております。④小中学校のPTA会長を務めさせていただき、現在は蓮田南中学校の会長をしております。ユネスコ協会には田村会長の勧めで入会しました。「同社は、東日本大震災における南三陸町、さらに

登志工務店

小森 敏一
（こもりとしかず）



①株式会社登志工務店 代表取締役 小森敏一（こもりとしかず）
②埼玉県蓮田市 ③大成十一年に会社を設立しました。設立当初は現場から事務仕事まで全てを一人でこなしてきました。

熊本地震の復興にボランティア活動に頑張っています。その陣頭指揮に立っているのが小森社長です。」

(株)エルビー

武井 仁志
（たけい ひとし）



スタッフ一同



1997年（昭和52年）埼玉県幸手市生まれ。生後すぐに新潟県糸魚川市で幼少を過ごす。5歳の10月に幸手市に戻り現在に至る。設立当時から蓮田・白岡地方ユネスコ協会様に『地元



エルビー蓮田工場

かっこ（□）内は日頃の支援・協力に感謝をこめて会長から寸評を記載させて頂きました。

書損じハガキ等 回収について

お願い

蓮田、蓮田西新宿、蓮田東口、白岡各郵便局、蓮田図書館他に、回収箱を設置しておりますので、書損じハガキ・未使用切手類等ご協力をお願いいたします。

識字教育支援、私達ユネスコ活動に使用させていただきます。例えば、カンボジアでは11枚でひとりがひと月学校へ）



大好きなお母さんとケイ・ラーちゃん
日頃のご支援有難うございます。